

使用済燃料貯蔵対策への 対応状況について (概要)

2016年10月20日
電気事業連合会

○共通の取り組み

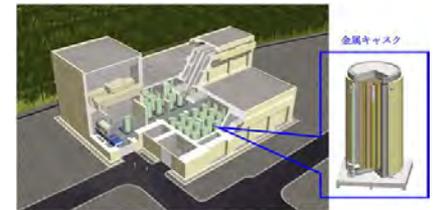
六ヶ所再処理工場の早期竣工、竣工後の安全・安定操業に向け、原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査において得られた知見を基に、助言等の支援を、引き続き実施

○各社の取り組み

使用済燃料対策方針に基づき、貯蔵能力拡大に向けた取り組みを実施

- ✓ 2008年12月使用済燃料乾式貯蔵施設の建設計画を公表、2015年1月原子炉設置変更許可申請。

現在、許可取得に向けて審査対応中。(中部)



第2図 使用済燃料乾式貯蔵施設イメージ図

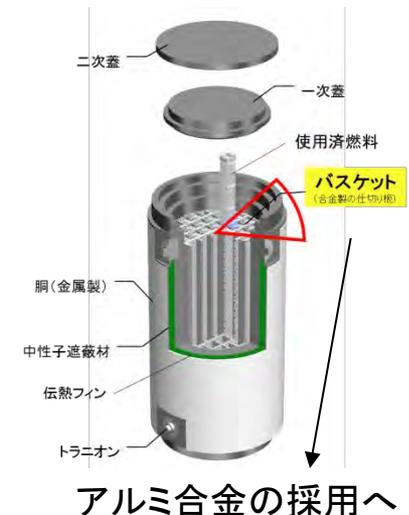
- ✓ 使用済燃料対策推進のための社内体制強化(関西)
- ✓ リサイクル燃料備蓄センター事業開始(2018年後半開始予定)に向けた支援(東京、原電)
- ✓ 貯蔵対策に係る調査、検討(北海道、東北、北陸、中国、四国、九州)

① 使用済燃料貯蔵能力拡大にかかる技術検討

- ✓ 貯蔵効率の向上、貯蔵方式の多様化などを狙いとした技術検討を実施中

【研究テーマの例】

- ・キャスクバスケット用アルミニウム合金の開発
軽量で熱伝導が高いアルミニウム合金を開発することでバスケットの厚さを低減し、キャスクあたりに収納可能な使用済燃料集合体数の増加を図る。
- ・金属キャスクの長期健全性に係る海外調査
最新の海外知見を蓄積し、信頼性の向上を図る



② 使用済燃料の乾式貯蔵を促すための技術検討

- ✓ 乾式貯蔵施設の技術基準見直しに向けた取り組み

③ 使用済燃料貯蔵能力拡大にかかる理解活動の強化に向けた検討

✓ 電気事業連合会の広報活動

- ・ 報道機関への説明
- ・ 使用済燃料貯蔵対策の取り組みに係るパンフレットの新規制作
- ・ ホームページに特設ページを掲載



電気事業連合会パンフレット
「使用済燃料貯蔵対策の取り組み」
(HPからもDL可能 <http://fepc-dp.jp/>)

✓ 各社の広報活動

- ・ 自治体・地域団体等への訪問・説明
- ・ 中間貯蔵施設・乾式貯蔵施設を利用した広報活動
- ・ 電事連パンフレットを活用した理解促進活動 等

④ 中間貯蔵施設や乾式貯蔵施設等の建設・活用の促進に向けた検討

- ✓ 立地が進捗している地域の理解活動に関して、良好事例の共有等、情報交換を実施